

令和6年度小松川第二中学校の評価・評定について

令和6年4月
小松川第二中学校 進路指導部

(1) 評価方法

【絶対評価】を実施

学習の到達基準を定めて、個々の生徒の学習が、その基準をどこまで達成できたかを明らかにする評価方法。

(2) 小松川第二中学校における評価の具体

- ① 評価の観点を明確にする（年度当初に教科ごとに評価材料を検討する）
学習指導要領に示される目標に照らして、教科ごとの到達状況を評価する。
評価は「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習する態度」の3つの観点についてA～Cの3段階で行う。
- ② 達成の程度を重視した絶対評価から評定へ

【観点別学習状況の評価】		【評定】	
A	十分満足できる	5	十分満足できるもののうち特に程度の高いもの
B	おおむね満足できる	4	十分満足できる
C	努力を要する	3	おおむね満足できる
		2	努力を要する
		1	一層努力を要する

- ③ 達成値と評価・評定の設定（教科ごとに、各評価・評定の達成基準を設定する）

【観点別学習状況の評価】

達成値	観点別学習状況の評価	評価
80%以上	十分満足できる	A
50%以上80%未満	おおむね満足できる	B
50%未満	努力を要する	C

【評定】

達成値	学習の達成状況	評定
90%以上	十分満足できるもののうち特に程度の高いもの	5
80%以上90%未満	十分満足できるもの	4
50%以上80%未満	おおむね満足できるもの	3
20%以上50%未満	努力を要するもの	2
20%未満	一層努力を要するもの	1

・評価できない観点があるときには、斜線が表示されることがあります。